

～現場実践から学ぶ、地域の現在地に合わせた支援デザイン～

地域伴走支援 スキルアップ研修

地域の課題、一人で抱え込んでいませんか？
本研修では、鍋島悠弥氏の実践例から地域の「現在地」を見極め、住民の思いを引き出す伴走支援のコツを学びます。
さらに愛媛県の支援プラットフォームを活用し、外部専門家を効果的に巻き込むノウハウも実践的に習得！孤軍奮闘から抜け出し、地域が自走するための「支援デザイン」を一緒にアップデートします。



会場

エン ベース
E:N BASE (愛媛県庁第2別館内)

開催日時

対象

県内の集落支援員、地域任用職員
集落支援を任務とする地域おこし協力
隊、行政職員、地域運営組織の運営に
従事する住民など

11月17日 火
13:30-16:30

参加人数

30名 (先着順)

講師

愛媛県集落支援員・総務省地域力創造アドバイザー
鍋島 悠弥氏

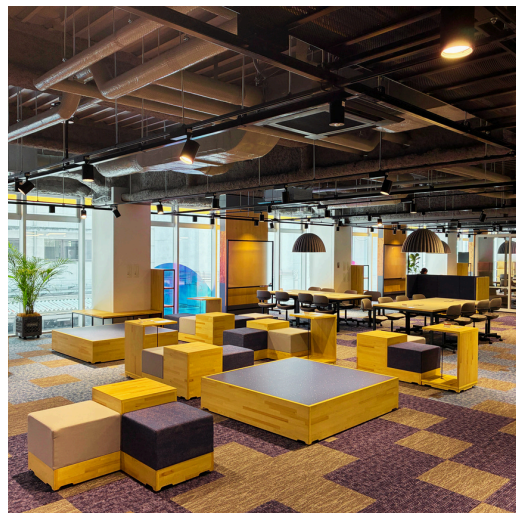
講座内容

(第1部) 地域運営組織の発展段階を測る
(第2部) 段階による支援の匙加減を学ぶ
(第3部) 外部支援の活用法を学ぶ

※詳しくは裏面をご覧ください。

申し込み

右のQRコードから
お申し込みください



(公財)えひめ地域活力創造センター

〒790-0001 松山市一番町4-1-2 愛媛県自治会館 5F
TEL : 089-926-2200 Mail : ehime-chiiki@ecpr.or.jp



プログラム

【第1部】現場の実践から紐解く、地域の「現在地」と住民の思い（13:35～14:40）
＜講師：鍋島 悠弥 氏＞

鍋島氏自身の愛媛県内での活動実績や失敗談なども交え、現場目線で語っていただきます。

- レクチャー：思いを引き出す現場のリアル 住民の「本音」にどうアプローチするか。鍋島氏が実践している傾聴と対話の工夫。
- レクチャー＆ワーク：地域運営組織の発展段階を測る 地域運営組織の発展段階（準備期・形成期・実践期・自律期など）の分かりやすい解説。
- ワーク：「自分の担当地域は今どのレベルか？」を理論に当てはめて言語化する（個人ワーク＋グループ内共有）。

【第2部】現在地に見合った支援のグラデーション（14:40～15:20）
＜講師：鍋島 悠弥 氏＞

地域のレベルを把握した上で、支援員として「どこまで手を出し、どこから見守るか」のサジ加減を学びます。

- レクチャー：フェーズ別・支援員の立ち回り方 段階ごとに変化する支援員の役割（黒衣になるタイミング、あえて失敗させる勇気など）。現場で陥りがちな「過干渉」と「抱え込み」の回避策。
- 質疑応答

休憩 10分

【第3部】支援員を孤立させない外部資源の活用法（15:30～16:15）
＜講師：鍋島 悠弥氏、田村 政幸＞

支援員が一人で抱え込まず、センター等の中間支援機関を効果的に巻き込む方法を、対談形式でレクチャーします。

- レクチャー：プラットフォーム運営事業の活用とセンターへの相談法 センターが提供できる支援メニューと、活用すべきタイミング。
- 実践ノウハウ：センターへ相談する際の「情報整理のコツ」 現在のフェーズ、課題、住民の温度感をどう伝えるか。また、外部の専門家を地域に入れるタイミングと、住民へのマインドセットの働きかけ方など。

【クロージング】（16:15～16:30）
本日の振り返り
アンケート記入・ネットワーク構築（名刺交換など）